

資金分配団体 審査会議 議事概要

コロナ対応支援助成〈随時募集〉第3次

1. **日時**：2021年8月20日（金） 同日実施の通常枠審査後に午前と午後の2回に分けて実施。

2. **場所**：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

〈午前〉

- ・ 高原康次（グロービス大学院 講師）〔議長〕
- ・ 町井則雄（株式会社シンカ 代表取締役社長）
- ・ 永沢映（NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事）
- ・ 功能聡子（ARUN 合同会社代表）
- ・ 治部れんげ（ジャーナリスト）

〈午後〉

- ・ 深尾昌峰（龍谷大学政策学部教授）〔委員長・議長〕
- ・ 菅野拓（京都経済短期大学・地理学者）
- ・ 山内明子（生活協同組合コープみらい常務理事）
- ・ 山内亮太（株式会社 ESCCA 代表取締役）
- ・ 米田佐知子（子どもの未来サポートオフィス代表）

- ・ 審査事務局：JANPIA

4. 議題

2021年度コロナ対応支援助成〈随時募集〉第3次の審査

5. 申請の状況

4事業

6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元

審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。

- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

同日に実施された通常枠審査会議の終了後に2回に分けて実施し、調整の必要が出た場合は議長を通じて行うこととした。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

- ・ 高原康次
—READYFOR 株式会社

審査

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の2事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 有限責任事業組合まちとしごと総合研究所

- ・ 想定される実行団体が抱えている課題は何か、実行団体に対して、(施設の維持管理を含む) 支援後の自立について、より明確な道筋を立てるサポートをどのように実現していくか、居住者の早期自立に向けた支援内容をどのようにするか、助成先のシェアハウスが事業目的に適った利用となっているかなどをトレースできる仕掛けとするなど、事業設計上留意すべき点を整理いただく必要があると考える。

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの懸念事項が示された。懸念事項について団体に確認し、解消されれば理事会に推薦することとした。

■ READYFOR 株式会社

- ・ 子ども支援の分野でいくつもの流れを受けた団体が全国にある中で、中間支援組織・ネットワーク組織としてよりは直接支援組織としてのエキスパートであるコンソーシアム団体が、本申請事業で採択されるであろう各地の実行

団体に対し伴走支援を行う流れとなった場合に、何等かの影響が生じるのではないか。

- ・ 申請団体の役割と存在価値、また学習支援団体(実行団体)へはマネジメント支援や運営支援なども必要であり、ネットやパソコン環境以外のサポートと継続性についても十分な配慮が必要と考える。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の2事業

申請のあった事業について、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 財団認定特定非営利活動法人まちぽっと
- 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

以上